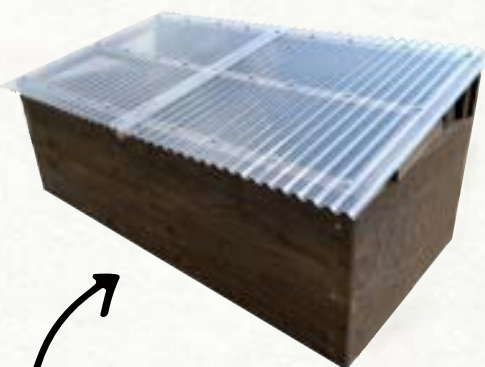


YOKKAICHI 生ごみ減量攻略BOOK

Good



土置き型キエーロ

設置型コンポスト



もくじ

- お宅の生ごみ・庭ごみどうしてる? 1
- こんな取り組みがありました 2
- キエーロ 3
 - キエーロとは 4
 - キエーロの使い方 5
 - キエーロ実践者の声 6
- コンポスト 7
 - コンポストとは 8
 - コンポストのいろいろな使い方 9
 - コンポスト実践者の声 10
- キエーロ・コンポストのサイズ 11
- ハイブリッド式 12
- 微生物活動カレンダー 13
- 冬場の乗り越え方 14
- Q&A 15～

『生ごみの処理、普段はどうしていますか？』

排水ネットに溜まったものを
ビニール袋に入れて捨ててるけど

ニオイ漏れや水分が気になるから
袋の口は厳重に縛るのが鉄則！

正直なところ
生ごみは触りたくないのよ

四日市市指定のごみ袋に
直接捨てています

ごみの日まで
保管するのがちょっと...

ごみ袋の節約は
したいのだけれど

なるほど...

聞いたことはあるけど...

『では、キエーロやコンポストなどの 生ごみ処理機を使うのはどうでしょう？』

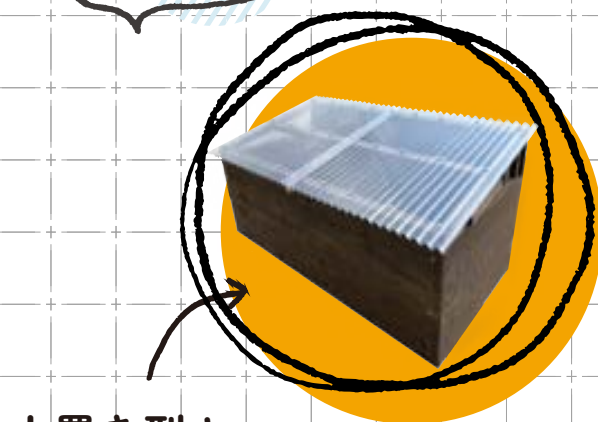
うちで出来るか
自信がない

生ごみを
入れるだけでいいってホント？

難しそう

虫は？
ニオイは？

どういう原理で
処理されるの？



土置き型キエーロ

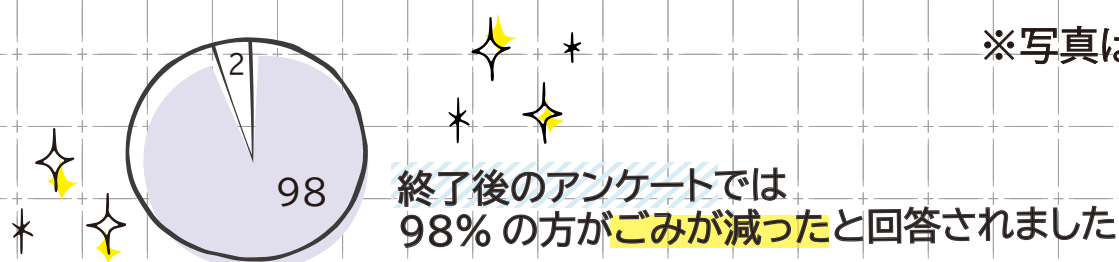


令和5年度に実施したモニター事業の中で出た市民の皆さんの意見をもとに
このマニュアルができあがりました。ぜひ活用してください！

さあ一緒にごみの減量、始めていきましょう！



※写真は令和5年度の様子



使いこなせるようになる前に挫折してやめてしまうケースが多い非電動式の自家処理。
やめてしまう2大理由は「虫の大発生」と「イヤなニオイの発生」です。
ライフスタイルに合わせ、快適に続けられる方法を見つけましょう。
使い慣れてくると自信がつき、違う手法にも挑戦しやすくなります。

“キエーロとコンポストの違い”

	キエーロ（生ゴミ専用）	コンポスト（庭ゴミ中心）	コンポスト（生ゴミ中心）
土の量は？	増えない	時間をかけて増える	増える
どんな土になる？	肥えた土になる	腐葉土になる	肥えた土になる
イヤなニオイは？	ほとんどしない	ほとんどしない	しないようにするのはむずかしい
虫の発生は？	あまり発生しない	発生するが少ない	発生する
土量との関係は？	土＞生ゴミ	土は入れなくてもできる	土＜生ゴミ
生ゴミの水切りは？	不要		必要
腐ったものの処理は？	できる		しない方がよい

キエーロ

こんな方におすすめ

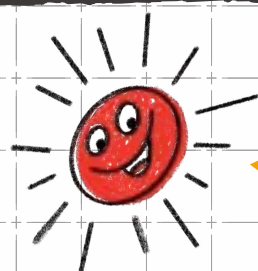
- ・土が増えても使い道がない
- ・ニオイや虫はちょっと・・・
- ・土作りがしたいワケではない
- ・戸建ての方向け

生ごみはわたしたちのゴハンです
どんどん食べるよ

土の中の微生物たち

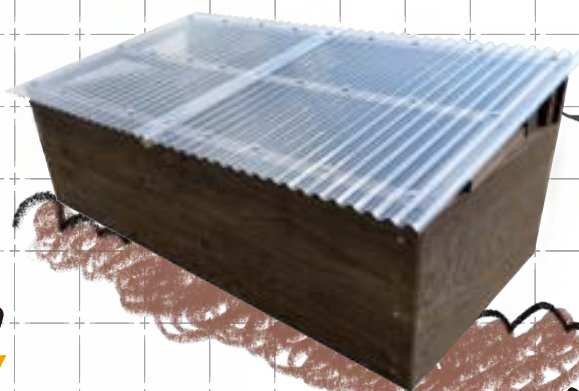
初めに

設置場所確認 よしっ！



日当たりよし！

夏場は4～5日
冬場は2～3週間で分解



風通しよし！

斜めのスキマがポイント

直接土の上よし！



底なしです
まわりの土も肥えてきます



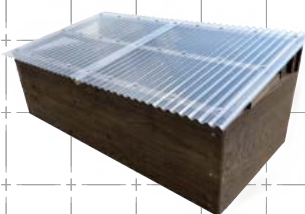
水はけよし！

地面に繋がっています

※設置する際には排水管・下水管などの点検口を塞がないようにしましょう。

準備するもの

土置き型キエーロ



基材「土」



黒土など肥料が入っていない土がおすすめ
砂や粘土質の土ではできません！

スコップ大・小



穴掘り・かき混ぜ用
2種類あると便利

あると便利

生ごみをためておく容器

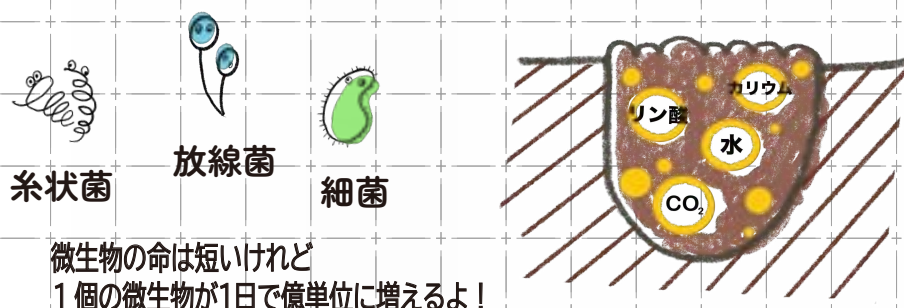


ステンレス製フタ付き
がおすすめ

『キエー口とは？』

分解のメカニズム

土の中のたくさんの種類の **微生物** が生ごみを分解し栄養分を作り出します



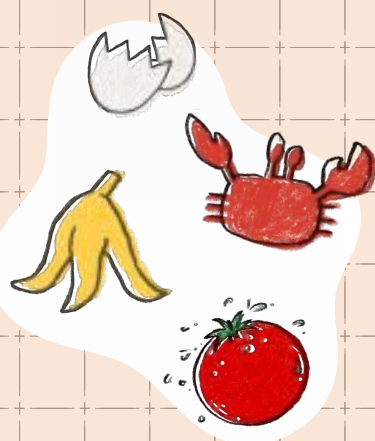
生ごみが完全に分解された土は堆肥として使えます。使った分は補充しましょう。

分解しやすいもの



- ・使い終わった揚げ油
- ・カビたもの
- ・腐ったもの
- ・魚の骨やはらわた

分解が遅いもの



- ・たまごの殻
- ・食べられない皮
- ・甲殻類の殻
- ・新鮮な野菜

入れない方がよいもの



- ・貝がら
- ・鶏など動物の太い骨
- ・大きなタネ

キエー口考案者

神奈川県 葉山町に住む
松本 信夫さん



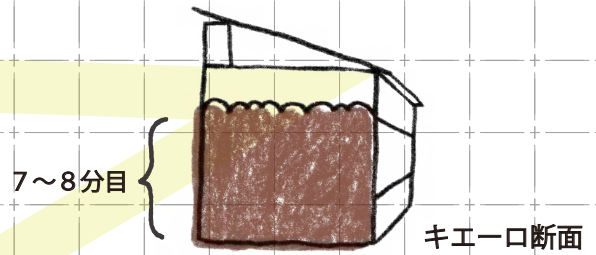
毎日出る生ごみを
家ですぐにか処理できないか
いろいろ考えたんですよ。

『キエー一回の使い方』

1 設置に適した場所



2 基材（土や竹チップ）を入れる

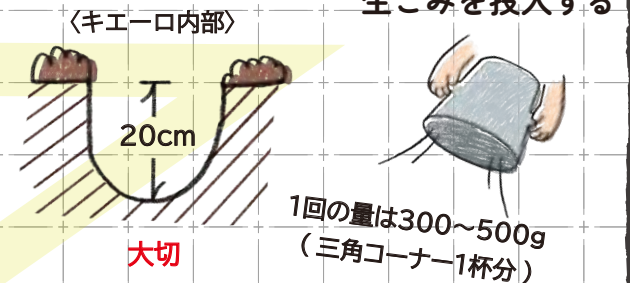


※基材が少な過ぎるとやりにくい上に浸水などの心配があります。
※微生物が棲みつにくい粘土質の土や砂まじりの土は避けましょう。

3 生ごみを容器にためる

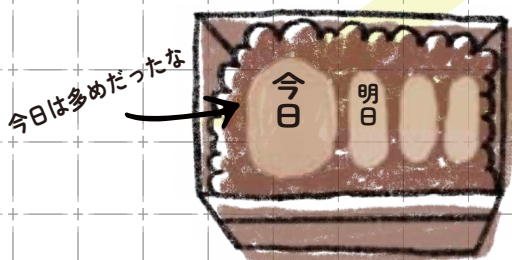


4 深さ 20 cm くらいの穴を掘り 生ごみを投入する

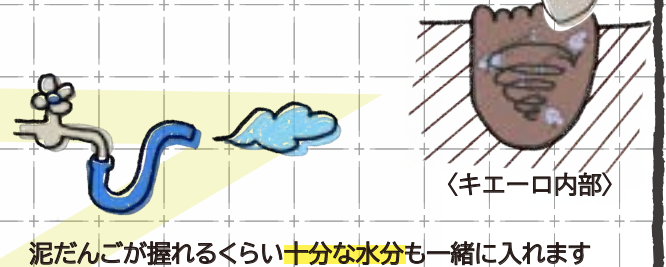


※魚の内臓など臭うものや気温が高い時期はため置かずに、すぐに入れても構いません。
※生ごみは細かくすればするほど分解がはやまります。水切りする必要はありません。

5 生ごみが多いときは2区画使うなど工夫する

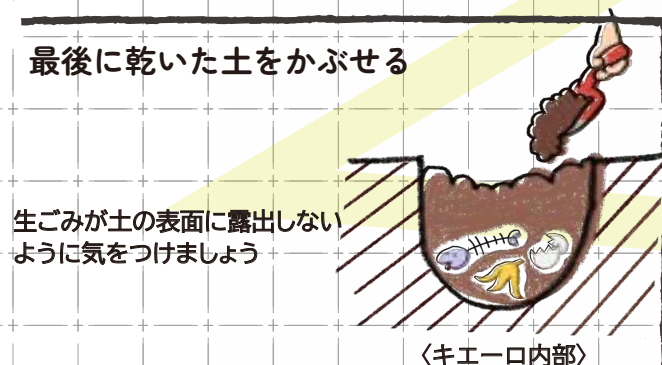


6 土と生ごみの見分けがつかなくなるまでよくかき混ぜる

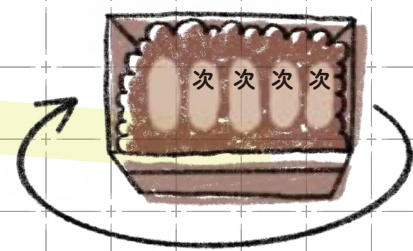


※生ごみを投入する穴の深さは、20 cmを守ることが虫の発生予防になります。
※生ごみを泥んこにすることで微生物が分解しやすくなります。

7 最後に乾いた土をかぶせる



8 埋める場所を変え、これを繰り返す



※露出した生ごみのニオイに虫が寄ってきて、そこに卵を産みつけようとしています。
※ときどき全体の天地をひっくり返すように混ぜると、それがメンテナンスになります。

『キエーロ実践者さんの声』



キエーロのおすすめポイントは？



家を留守にするとき、魚をさばいたときなど、ごみ出し日を気にしなくていいです。
また、揚げ油の処理やラーメンの汁など排水を汚しがちなものの処理もできるのが良かったです。

高カロリーなものは
分解を早めるので good !



ごみ出しの量が劇的に減って嬉しい♪
以前は週の前半にLサイズ1袋、後半にMサイズ1袋の
ゴミを出していましたが今は週に1回Mサイズ1袋のみになりました！



キエーロを使って気を付けるポイントはどこでしたか？



気温が下がる冬場には、うまく分解なくて野生の動物が寄ってきた時は困りましたが
市民団体が対応してくれてマニュアルもあったことから、その後解決しています。

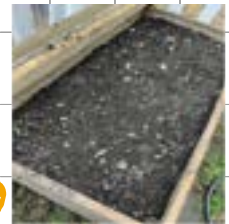
虫が発生したり、小動物が寄ってきても対処のし方を知っているか知らないかでは
気持ち的に安心感が全然違いました。

解決策は
生ごみをしっかりと
混ぜて埋めること！

分解しきれっていない



Before



After



キエーロ生活はいかがですか？



遊びに来た子どもの友だちにキエーロについて話す機会が何度ありました。

これから大人になっていく彼らに環境問題や自分たちにできる少しずつの積み重ねの大切さ
について伝えるきっかけがあったのは嬉しかったです。



小2の子どもが夏休みの自由研究にしたり、家族みんなで興味を持ち取り組みました。

気軽に市民団体が相談にものってくれました。
使用を始めると、まず生ごみが分解されていくのが不思議で
楽しい！臭わない！もちろん静か！

nice!



コンポスト

こんな方におすすめ

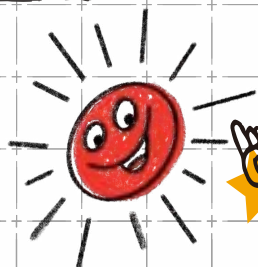
- ・落ち葉や雑草が多い
- ・キエー口より多くのものを資源化したい
- ・畑や花壇に入れる土がほしい
- ・ニオイや虫はちょっとくらいだったら...

落ち葉や生ごみはわたしたちのゴハンです
発酵分解していくよ！

土の中の微生物たち

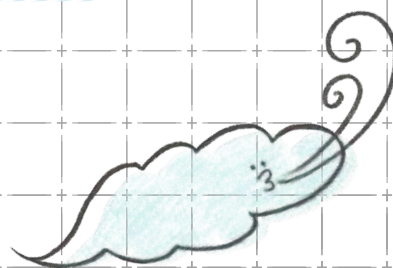
初めに

設置場所確認 よしっ！



日当たり良し！

コンポスト内の
温度が高くなると分解がはやいです



風通し良し！

直接土の上良し！

底なしです
地面を掘って埋めるのがおすすめ！



水はけ良し！

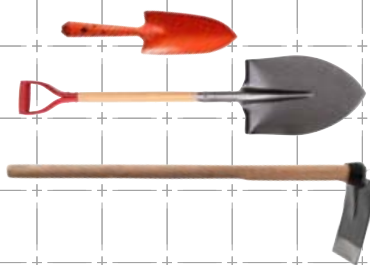
地面に繋がっています

※コンポストの下に穴を掘っておくと容量アップ・大雨時の浸水防止・強風対策になります。

準備するもの
設置型コンポスト



かき混ぜるもの



水分調整材



落ち葉や雑草、土
ワラやもみがらなど

『コンポストとは？』

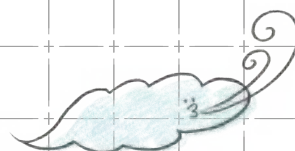
コンポストとは、生ごみや落ち葉など家庭から出る有機物を微生物が発酵分解することでできる堆肥や、それを作る容器のことです。

分解のメカニズム

土の中のたくさんの種類の **微生物** や **虫** が生ごみや庭ごみを分解していきます。

※アメリカミズアブやミミズは生ごみの分解スピードを加速させます

分解には酸素をたくさん使うため
コンポストの中は酸素不足になりやすく
嫌気性に偏りがちになります。
すると中身はかたくなり、少し臭うようになります。
よくかき混ぜ酸素を送り、好気性に偏りを戻しましょう。



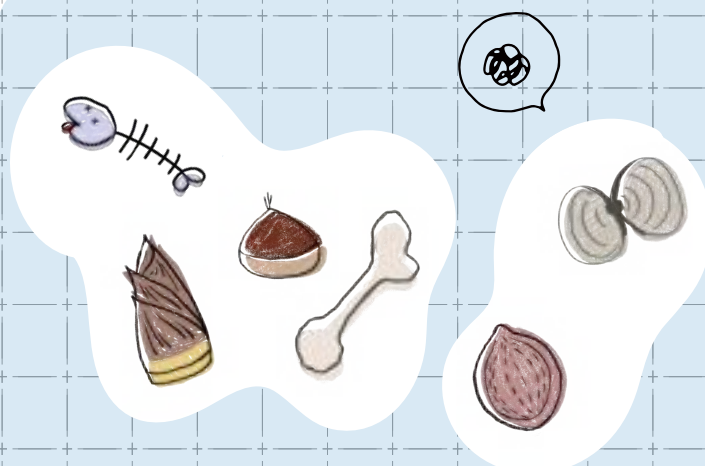
虫たちとも協力！生ごみも庭ごみも同時に処理できる最強の処理機！
虫は苦手だけどコンポストをしたい人は庭ごみから始めてみて
微生物活動のメカニズムを理解してみるのもおすすめです。

分解しやすいもの



- ・落ち葉、細い枝
(手ばさみで切れない枝はNG)
- ・米ぬか
- ・生ごみ全般(腐ったものはNG)
- ・使い終わった揚げ油
- ・たまごの殻

分解が遅いもの・入れない方がいいもの



- ・野菜の芯、皮
- ・果物のタネ
- ・魚や動物の骨
- ・貝がら
- ・大きいタネ

※生ごみを入れる場合は新鮮なうちに！
土と併用すると効果的！

『コンポストのいろいろな使い方』

庭ごみ中心の使い方

ニオイや虫の発生が気になる方におすすめ

※コンポストに入れるものはそれぞれの家庭で違います。ご紹介する方法は一例ですので、試しながら好きなやり方でごみ減量に取り組んでください。より良い土づくりに関心のある方は土や肥料の専門書などでご確認ください。

—例)

- ①フタは閉めきらず、角材などを挟んでスキマをつくり分解に必要な酸素が入るようにします。
 - ②分解には水分も必要なので、雨などを利用して容器の中に水分を補給しましょう。
 - ③庭ごみ中心だと炭素率が高く、発酵分解は遅いです。ときどき生ごみを入れることでも促進されますから、虫が発生しにくい気温の低い時期に入れてみるのもおすすめです。生ごみを入れたときは落ち葉や雑草土などを被せておきましょう。
 - ④いっぱいになったら、容器を引き上げ、中身をひっくり返して土やシートで覆うなどして、しばらく放置しましょう。
- ※容器がいっぱいになったように見えても、しばらくするとまた隙間ができてきます。

コンポストが2基以上あれば、容器のまま熟成（放置）させてもいいです。

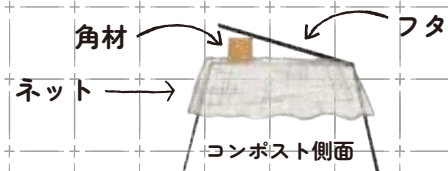
入れたもののカタチが崩れ、熱をもっていない状態になれば、腐葉土として土壌改良に使えます。
（肥料を加えて家庭菜園などに使えます）

生ごみ中心の使い方

ニオイや虫の発生が気にならない方におすすめ

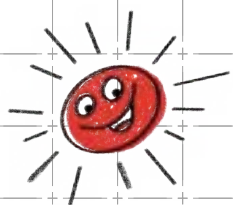
—例)

- ①入れ始める前に、敷材として落ち葉や土を3cm程度敷きます。
- ②水切りした生ごみを投入して、同量の落ち葉や土を混ぜ込み水分を調整します。混ぜたものの上に、さらに土を被せておくと虫対策になります。
- ③虫の侵入を減らすためのネットを載せ、本体とフタの間には角材などでスキマをつくるようにすると分解に必要な酸素が供給されやすくなります。



- ④数日間隔で中身を混ぜます。
※生ごみが出るたびに②～④を繰り返します。
- ⑤いっぱいになったら、容器を引き上げ、中身をひっくり返して土やシートで覆うなどして、3ヶ月程度熟成させましょう。
（夏は期間が短め、冬は期間が長め）
※コンポストが2基以上あれば、容器のまま熟成（放置）させてもいいです。

設置場所確認をしてください

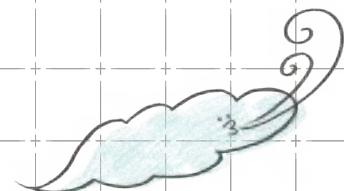


日当たり良し！

直接土の上良し！

容量アップ・浸水防止・強風対策

のために10～30cm 掘って埋めるのがおすすめ



風通し良し！

水はけ良し！

『コンポスト実践者さんの声』



コンポストのおすすめポイントは？



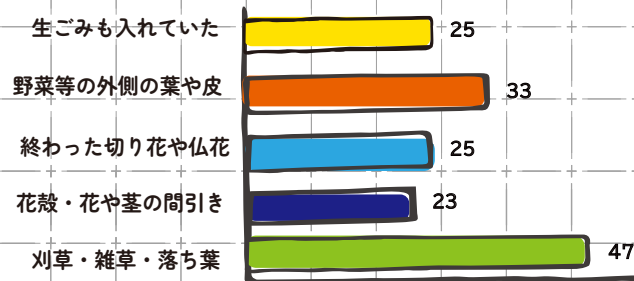
庭ごみを中心に投入していて、困ったことは何もありませんでした。



ごみが予想以上に削減できて良かったです。
削減できると、ごみ出しが楽になり、ごみ袋の枚数も減って良いことばかりでした。



雑草や落ち葉を中心に投入しています。
コンポストに入れる生ごみは葉野菜・根野菜の切れ端、茶葉なんかを週に1回くらいのペースで。
家で玄米を精米しているので、投入するとき一緒に米ぬかも入れてます。
捨ててしまいがちだった米ぬかも分解促進に活用できてホントにごみが減りました。



コンポストに何を入れていましたか？（複数回答）



コンポストを使って気を付けるポイントはどこでしたか？



初めてコンポストなので、臭いを気にし過ぎてキッチンから少し離れた場所に設置しました。
距離があることで面倒になってしまう時があります。
コツをつかめば臭いは抑えられることが分かったので
設置場所を近くに移動しようかと考えています。



コンポスト生活はいかがですか？



無理なく、人にも環境にも良いシステムが自然と出来上がっていくといいなあと思いました。
関心を持つ人が増えることで、四日市全体のごみの減量につなげていってほしいと思います。



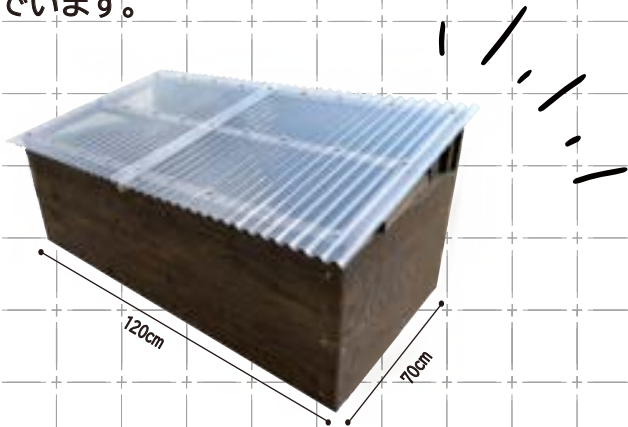
スムーズにコンポストを使うことができました！
今後もこのような機会を設けてごみ削減を推進してほしいです。

『モニター事業で採用した 処理機のサイズ』

各家庭で生ごみの内容や量は千差万別ですが、一日300g程度の生ごみを出している家庭では
年間の合計が100kg以上になる計算です。
あなたの家庭では、どのくらいの生ごみが出ますか？

キエーロ

四日市市で行ってきた研究調査では、
初心者が、年間100~150kg程度の
生ごみをキエーロで安全安心に分解する場合
必要な土量は160リットル前後が適切と見込
んでいます。



自然界のしくみを応用した処理方法なので設置環境や
分解消滅させたい生ごみ量に応じたサイズを
考慮する必要があります

コンポスト

設置型コンポストには、いろいろなタイプ
いろいろな大きさがあります。
コンポストの容量も100ℓ程度のものから
300ℓ以上のものもあります。家族の人数
やごみの量に合わせて選びましょう。



ちょこっとコラム

コンポストの中身をかき混ぜたり、満タンになったとき引き上げたりするには、腕力も必要ですから
世話をする人の体格や体力に合うものを選ぶことも長続きのコツです。
非力な人が設置型コンポストで土づくりをするときは注意が必要です。

たくさん処理したい方・混ぜるのは大変！
という方は堆肥枠を検討してみては
どうでしょうか？

「あぜ板」を活用し堆肥枠を自作された
モニターさんもいました。



『 組合せて使えばさらに快適 』

キエーロ



コンポスト



得意分野

→ **生ごみ**

得意分野

→ **庭ごみ**

01 Point

生ごみの水切り不要
初心者でも扱いやすい

02 Point

- ・天ぷら油 o k
- ・ラーメンの汁 o k
- ・魚のアラ o k
- ・カビたもの o k
- ・腐ったもの o k

01 Point

庭ごみ中心なら
ニオイや虫の心配なし

02 Point

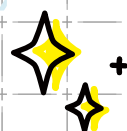
- ・刈り取った草花 o k
- ・抜いた雑草 o k
- ・落ち葉 o k
- ・切り花、仏花 o k
- ・葉野菜、根野菜 o k



Check!

◀ **ハイブリッド式** ▶

得意分野を発揮してお互いがサポートし合う関係に



両処理機は
地面と繋がってます

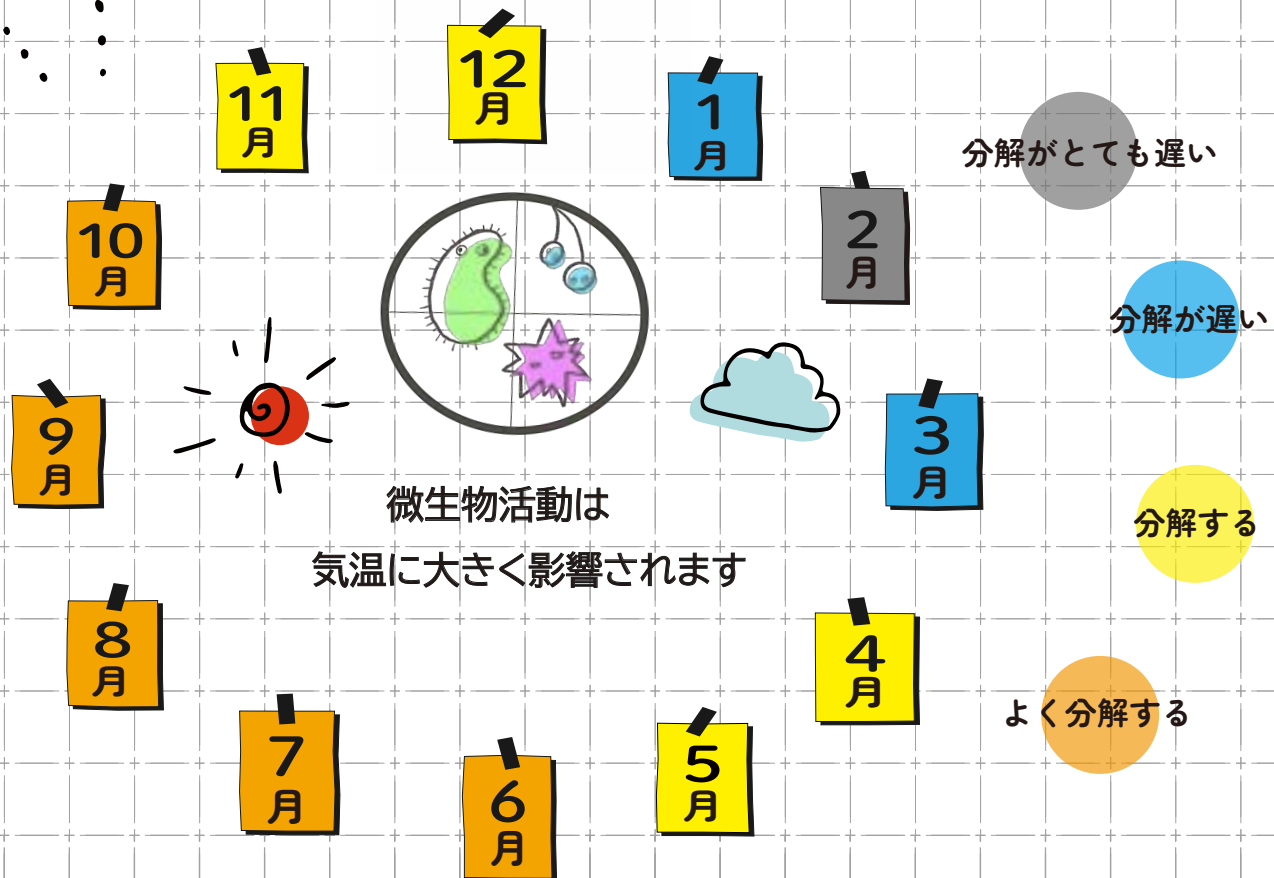
コンポストは土が作れます



ごみ袋の無駄使いに
サヨナラです

キエーロの土は増えません

『微生物活動カレンダー』



キエーロモニターの声

夏場のキエーロは面白いくらい分解していくのに、冬は分解が遅くなります。しかし、電気の助けもなく、少しずつ分解していく姿を見ていると、これも微生物が生きている証拠「寒いツライよね～」という気持ちになり、寄り添って使っています。

春



冬



外気が10℃以下＝冷蔵庫と同じ

『冬場の乗り越え方』



キエーロでもコンポストでも
細かくすると微生物は分解しやすい

キエーロ

- ・生ごみを細かくする
- ・しっかり混ぜる
- ・一次発酵させる
- ・高カロリーなものを入れる

その他

余熱利用であたためる



「はやく確実に分解させたい」
とフードプロセッサーを活用している人もいます

コンポスト

庭ごみが少ない時期

【入れるものがない人は放置でOK】

- ・入れるものを細かくする
- ・しっかりかき混ぜる
- ・雨などを利用して乾燥を防ぐ
- ・生ごみを入れて分解をはやめる

米ぬか活用法

米ぬかには微生物が好む栄養素がつまっています。

分解促進材として使ったり堆肥づくりにも活用できます。

キエーロ



生ごみ容器に混ぜ込んで
室内で少し時間をおく
(一次発酵の促進)

コンポスト



コンポストや堆肥枠の中の
雑草や落ち葉にふりかけたり
混ぜ込む

＜キエーロ Q&A＞

Q 使用上の注意点は？

A キエーロは基材の中の微生物の力によって生ごみを分解します。日当たり・風通し・水はけの良い環境に設置して快適に使ってください。日陰や風通しのないところでは微生物の働きが弱く分解能力が低下したり、虫やニオイが発生しやすくなります。

Q 家の近くに設置しても大丈夫ですか？

A 大丈夫です。適切に使用すればイヤなニオイや虫の異常発生は起きませんので、キッチンから通いやすい場所がおすすめです。水道栓が近くにあれば、なお良いです。

Q 土置き型キエーロに底をつけてコンクリートの上でできますか？

A やらない方がいいです。底板のある背の高いタイプのキエーロもありますが、地面とながっていないタイプのキエーロは水分調整のための余裕が不可欠なため背を高くします。土置きタイプのキエーロに後から底をつけて使うと、下の方で土も水も腐り、悪臭が発生するようになり、底板も傷んでしまう可能性が高いです。

Q SNS などでは小さな容器でやっている人を見かけます。

A 分解できる生ごみ量とキエーロの土の量は比例します。つまり、たくさんの土の中で少しの生ごみを土に還すのは、とてもラクチン！反対に、少しの土でたくさんの生ごみを分解しようとするともニオイや虫に悩まされやすくなります。小さな容器には限界があり分解体験用と考えた方が安全です。

Q 追加で必要になる消耗品はありますか？

A 消耗品などのランニングコストはありません。キエーロの中で肥えてきた基材を花壇や菜園などの土として使う場合は、取り出した分だけ基材を補充してください。養分が抜けたプランターの土などもキエーロで再利用できます。

Q 投入できない生ごみはありますか？

A 人間が食べて消化できるものはたいてい投入できます。人間は食べませんが、使用済みの揚げ油は分解をはやめる作用がありますので積極的に入れた方がいいです。貝がらは分解されません。

Q 使い終わった揚げ油の処理はどんな風にすればいいですか？

A 微生物は油が大好きです。粗熱がとれたら鍋から直接キエーロの穴に注いでも大丈夫です。他の生ごみに絡めて入れたり、水分がわりに注いでも大丈夫です。

Q どちらかというとズボラです。でも失敗したくありません！

A ズボラさんが上手に使うには、キエーロの大原則である「日当たりの良い場所」に設置した「大きめのキエーロ」で始めるのが一番です。分解がスムーズなので億劫にならずに続けられると思いますよ。キエーロに限らず、循環型の生ごみ処理を断念してしまう理由として「虫とニオイ」が挙げられます。キエーロの場合は、少ない土にたくさんの生ごみを入れしまうと、それが発生しやすくなります。

Q 小動物に荒らされないか心配です！

- A** 予防方法があります。生ごみが土の表面に露出することでニオイが発生します。このニオイが虫や小動物を呼び寄せます。生ごみを細かくして入れる・生ごみを土としっかり混ぜ合わせるなどが対策になります。

小動物が多い地域では本体板とフタの間の三角形のスキマに金属製のネットをつけておく
と安心です。
空気の通り道を空けておくことがポイント！



Q 毎日入れたいですがいいですか？

- A** 気温が高い夏場や臭う生ごみは毎日入れて構いません。気温が低い冬場は分解速度が下がります。夏場と同じ勢いで毎日入れていると微生物が分解しきれなくなってくるので、室内での一次発酵をおすすめします。季節を問わず、生ごみを細かくすると分解がはやまります。

Q 土の表面にウジ虫がいます・・・

- A** 生ごみを入れる穴が浅くなっていませんか？もしくは生ごみが土の表面に露出していませんか？しっかりと20cmほどの穴を掘り、よくかき混ぜ、仕上げに乾いた土をかぶせておくと虫の発生を防ぐことができます。

Q キー一口の中にたくさん虫が出ました！

- A** 生ごみと土をよく混ぜていますか？生ごみがカタマリになっていることが原因と考えられます。カタマリを砕き、その上に乾いた土をかけてしばらく放っておきましょう。生ごみが分解され食べるものがなくなれば虫はいなくなります。

Q メンテナンスはどのようにすればよいですか？

- A** 分解に支障がなければ、特に必要ありません。ときどき基材全体をかき混ぜ、分解残りを砕いたり、空気を送り込むことがメンテナンスになります。見た目もきれいに使いたい方や分解力が落ちたように感じる方には、ふるいにかけてフカフカに戻ります。

＜コンポスト Q&A＞

Q 使用上の注意点は？

A コンポストで良い堆肥づくりを目的にする人は、繰り返し作業に力が必要なため、自分の体力やかけられる手間を考えて、自分に合うサイズや台数を考えておくと途中ギブアップを防げます。のんびり自然のサイクルに任せて時間をかけられるなら多くの手間は省くことができます。

Q 家の近くに設置しても大丈夫ですか？

A 庭ごみを中心に適切に使用すれば、イヤなニオイや虫の異常発生は起きませんので、キッチンから通いやすい日当たりの良い場所がおすすめです。手間をかけずに生ごみを放り込みたい人は、ニオイと虫の発生は避けられませんので、住居や隣家から少し距離をおいた方がよいかもしれません。

Q 生ごみを地面に直接埋めるのとどう違いますか？

A 畑や庭の土を掘り、直接生ごみを入れられれば、比較的手間もかからず土に還すことができますが小動物が集まりやすくなる可能性があります。小動物を寄せ付けにくいことは容器を利用するメリットと言えます。

Q 追加で必要になる消耗品はありますか？

A 普通に使っている分には問題ありませんが、メーカー等から夏場用の防臭剤や冬場用の分解促進剤が販売されています。ケースに応じて使い分けをしてみましょう。

Q 水分調整材はどんなものが使えますか？

A 雑草、落ち葉、細かい剪定くず、米ぬか、もみ殻、わら、腐葉土などです。生ごみの80%が水分と言われています。それを半分程度に調整し、さらに土をかぶせておくと虫対策になります。

米ぬか



土



Q ウジ虫が発生しました・・・

A 気になる場合は発生原因を探りましょう！

- ①容器の底は浮いていませんか？下から虫が入らないように容器の下部を埋めましょう
- ②容器本体の投入口の虫予防はしていますか？容器のふちに卵を産みつけられることが多いです。ネットなどを利用しましょう。
- ③水分の入れ過ぎでニオイが出続けていませんか？ハエやアブは腐敗臭やたんぱく質のニオイにつられて集まってくることが多いようです。

※庭ごみ中心に使うと、このような現象は起こりにくいです。

Q 熟成はどんなやり方がありますか？

A 容器を2基使うと、いろいろラクです。2基目が満タンになる間、容器の中で熟成させると数か月そのままにしておけます。ただし、その間もときどきかき混ぜ（切り返し）ます。容器が1基の場合は、ある程度分解が進んでから容器を外し、畑や庭に積み上げておくか、土の中に埋めて熟成させるなどの方法がおすすめです。

【熟成期間】

季節や投入したものにもよりますが、1ヶ月～1年ほどかかります。

（投入したものが生ごみ中心だとはやく、庭ごみ中心だとおそい。分解促進作用のあるものを加えていればはやく、何も入れないとおそい）

Q 庭ごみ中心でやっています。分解をはやめたいときは？

A 乾燥していませんか？分解を早めたいときは、水分を足してみてください。微生物活動には適度な気温・水分・酸素が必要です。水分が不足していても分解が進みません。

雨の日にフタを開けておくのもおすすめです。

庭ごみ中心だとできあがる土は腐葉土程度が限界です。ときどき生ごみを入れて栄養を足せるといいですね。だんだんと使いこなせるようになった証拠です。

Q 庭や畑がないですが、生ごみを減らしたいです。どのような方法がありますか？

A 電気を使わないキューロやコンポストなどとは違い、電気が必要ですが、電動式のものもあり、多くは自動運転のため手間がかかりません。

電動式にもいくつかタイプがあり、価格や性能にも違いがあります。

自分のライフスタイルや好みにあったものを選びましょう。

（代表的なタイプは3つ：乾燥型・バイオ型・ハイブリッド型）

四日市市では補助金制度も実施しています。詳細は市 HP をご覧ください。



（四日市市役所ホームページにリンクします）

四日市市 生活環境課 ごみ減量推進係